

基礎から応用まで徹底解説！



ダウ理論

マスターガイド

ダウ理論とは？

FXトレーダーなら知らなきゃヤバイ

「**ダウ理論**」について解説します

ダウ理論とは？

「SNSや本でも理解できなかった...」



ダウ理論とは？

そんな人でもこの資料を見れば
理解できるので安心して下さい！



ダウ理論とは？

まず、ダウ理論には6つの原則があります。

まずはそこから説明していきます！

①平均は全ての事象を織り込む

ファンダメンタルズ分析の

対象となるりうる予測不可能な事象に至るまで、

全て価格に諸々織り込まれています

①平均は全ての事象を織り込む

つまり

「チャートの動きが全てである」

ということです!

②トレンドは3種類ある

主要トレンド(長期) → 1年～数年間継続

2次トレンド(中期) → 3週間～3ヶ月間継続

小トレンド(短期) → 3週間未満継続

③トレンドは3段階ある

第1段階(先行期)

→ 少数の投資家が底値で買ったり、天井から売ったりするトレンド

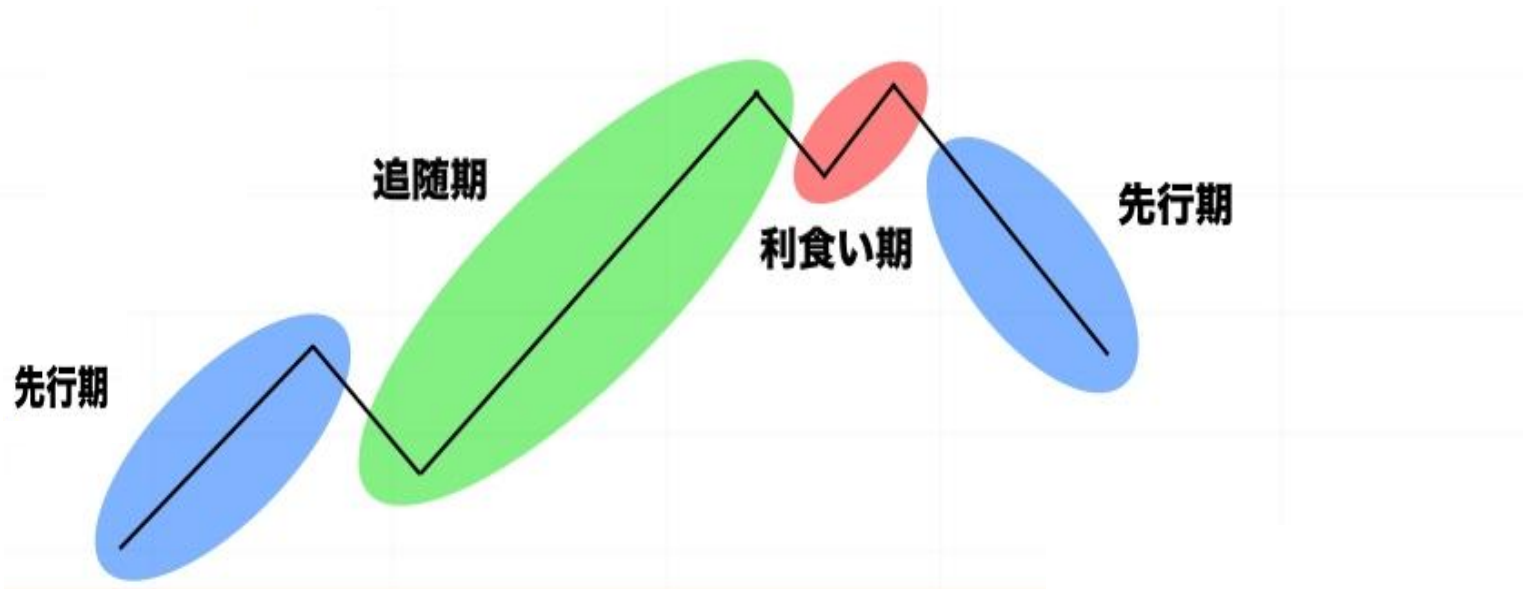
第2段階(追随期)

→ 上昇や下降を見た他の投資家が買いや売りを入れ始めるトレンド

第3段階(利食い期)

→ 先行期に仕込んでいた投資家が利食いを始めるトレンド

③トレンドは3段階ある



④平均は相互に 確認されなければならない

相関関係のある通貨ペアが

どちらも同じトレンドが出ていれば

強気でトレードができるというイメージです。

④平均は相互に確認されなければならない

「ある通貨ペアが上昇すると別の通貨ペアも上昇する」

このような関係を**相関関係**と言います。

例) 豪ドル / 円とNZドル / 円

⑤トレンドは出来高でも 確認されなければならない

本格的なトレンドが発生する際は出来高も大きくなります！

反対に出来高が伴っていなければダマシの可能性があります。

**⑥トレンドは明確な
転換サインが出るまで続く**

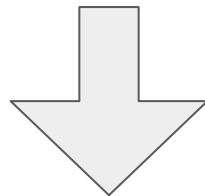


この原則が個人的に最重要項目になります！

⑥トレンドは明確な転換サインが出るまで続く

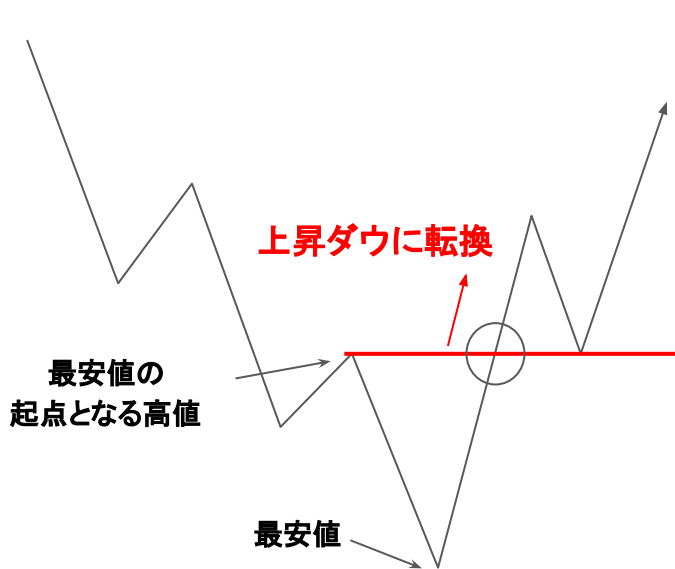
明確な転換サインとは

ダウ崩れのことです



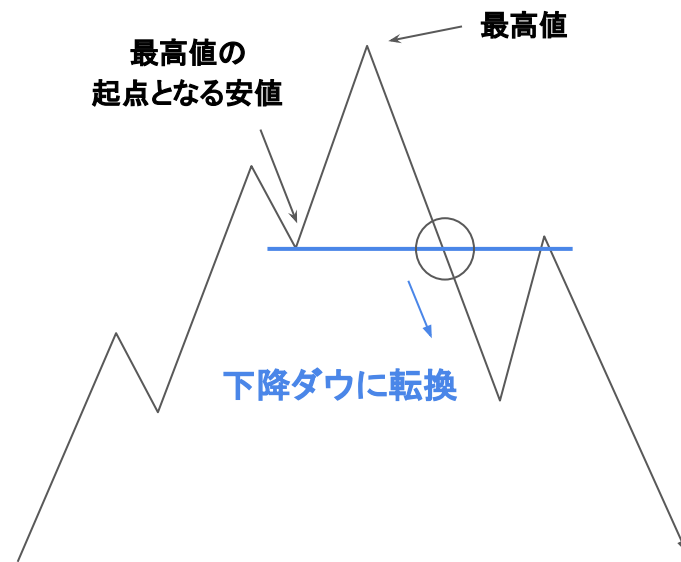
ダウ理論6原則

⑥トレンドは明確な転換サインが出るまで続く



最安値の起点となる高値を上抜け

→ 下降ダウ崩れ



最高値の起点となる安値を下抜け

→ 上昇ダウ崩れ

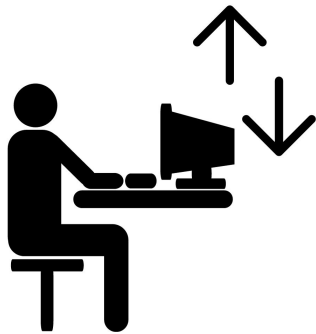
-まとめ-

- ①平均は全ての事象を織り込む
- ②トレンドは3種類ある
- ③トレンドは3段階ある
- ④平均は相互に確認されなければならない
- ⑤トレンドは出来高でも確認されなければならない
- ⑥トレンドは明確な転換サインが出るまで続く

チャートの流れ

そのダウ理論を使って

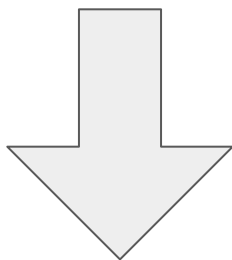
相場の流れを読むことができます！



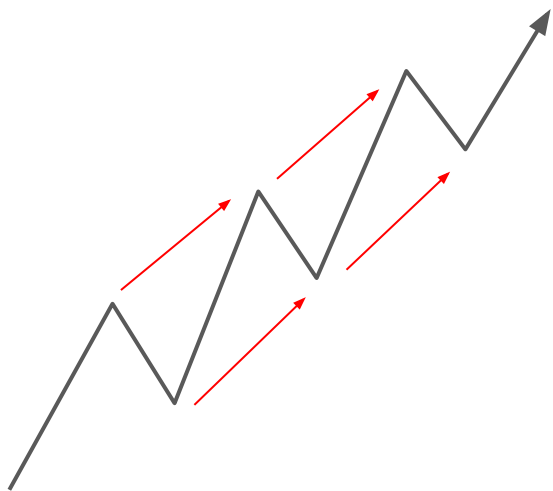
チャートの流れ

チャートの流れは主に**3種類**だけです。

まずこの流れを理解しないと勝てません。

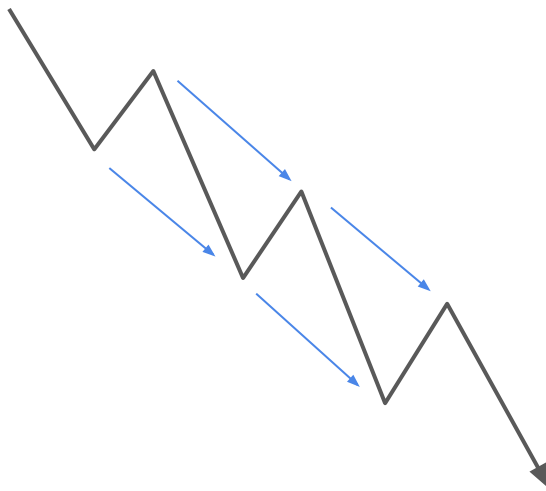


チャートの流れ



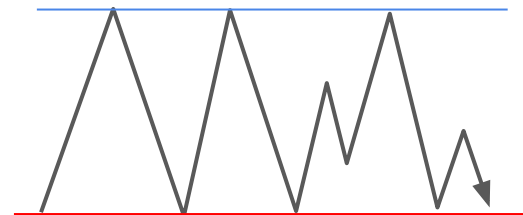
高値安値両方切り上げ

上昇トレンド



高値安値両方切り下げ

下降トレンド



横ばい

レンジ

チャートの流れ



チャートの流れ



チャートの流れ



チャートの流れ



チャートの流れ



ここで注意する点は

高値安値の切り上げ切り下げだけで

判断するのはNGです

チャートの流れ

必ず

ダウ崩れも確認して判断

しないといけません。

チャートの流れ

ダウ理論の原則⑥でお伝えした

「トレンドは明確な転換サインが出るまで続く」

というものがあります。

チャートの流れ

【下降トレンドの場合】

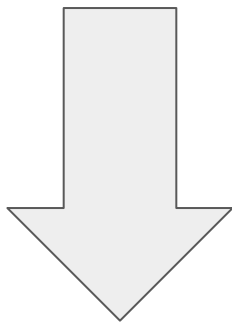
高値安値が切り上がっていても

明確な転換サインが出ていないと

上昇トレンドではない可能性があります。

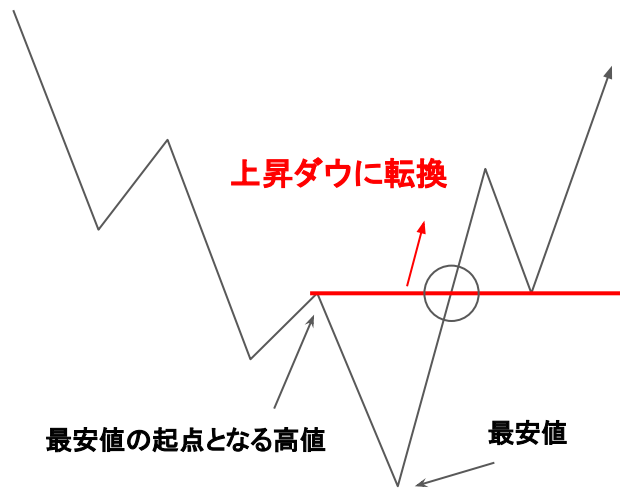
チャートの流れ

おさらいですが**明確な転換とは**



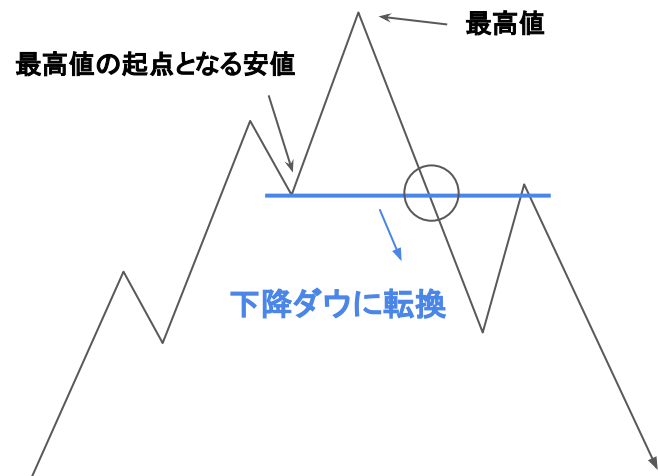
チャートの流れ

明確な転換サイン＝**ダウ崩れ**です



最安値の起点となる高値を上抜け

→ **下降ダウ崩れ**



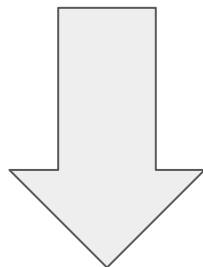
最高値の起点となる安値を下抜け

→ **上昇ダウ崩れ**

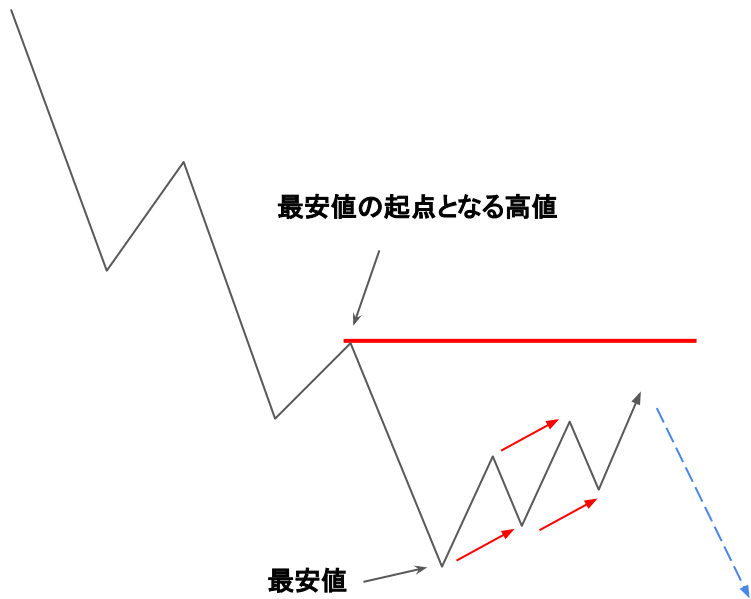
チャートの流れ

その

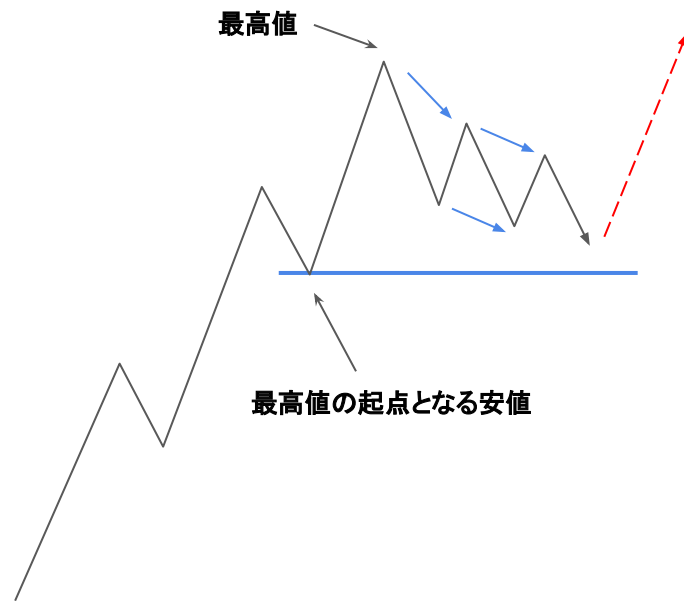
**ダウ崩れが確定していなければ現状のトレンドは継続
しているということです**



チャートの流れ



下降ダウ継続中



上昇ダウ継続中

チャートの流れ



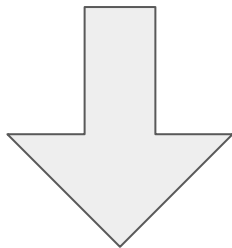
チャートの流れ



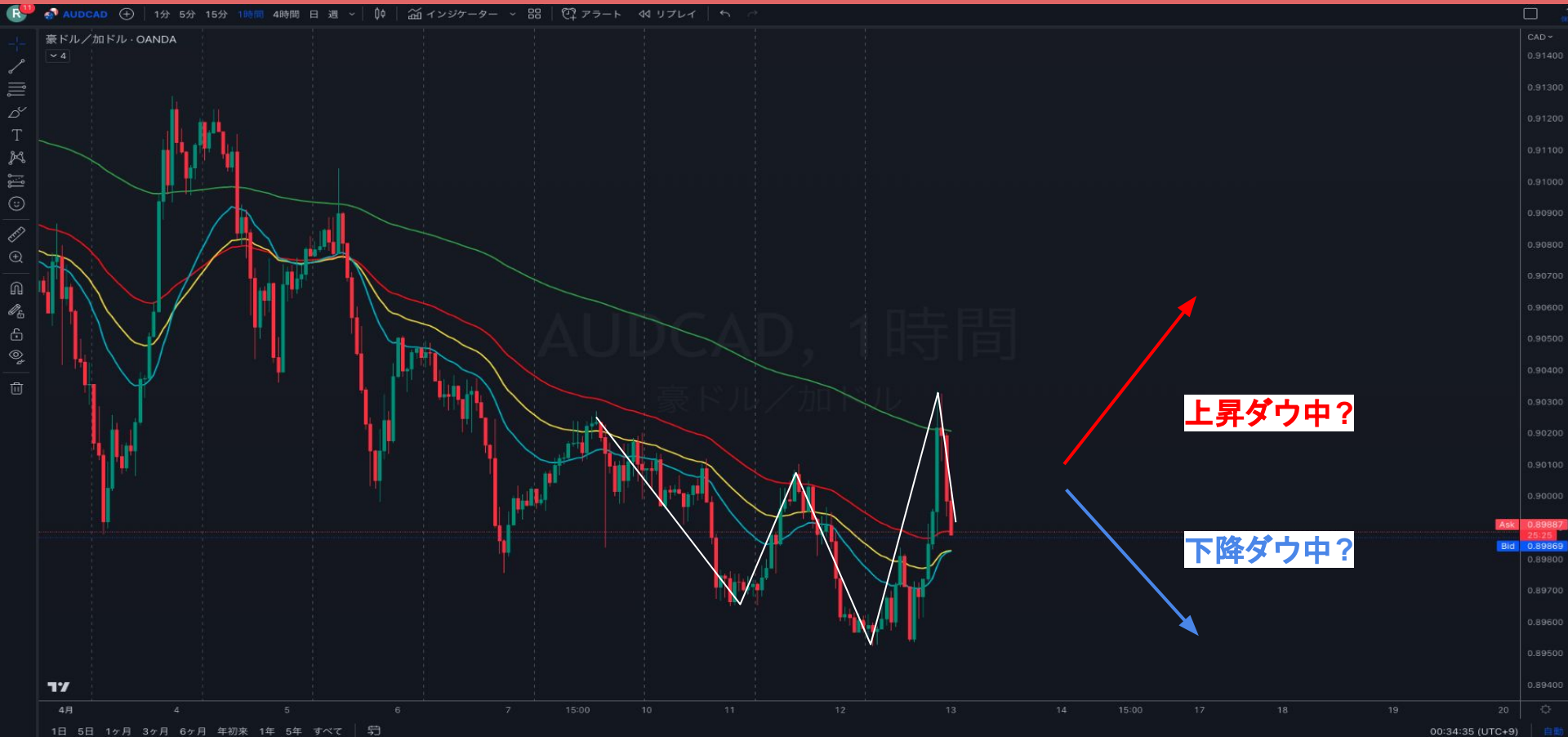
チャートの流れ

ここでクイズです。

次のチャートのトレンド方向はどちらでしょうか？



チャートの流れ



チャートの流れ

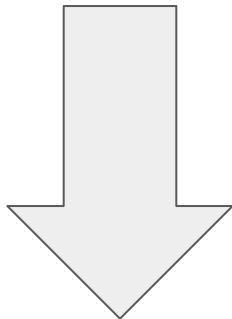
正解は...

チャートの流れ



チャートの流れ

これはどうでしょうか？



チャートの流れ



チャートの流れ

正解は...

チャートの流れ



チャートの流れ

この様に

ダウを確認しないと環境認識ができないで

ダウを必ず確認して環境認識を行いましょう！



チャートの流れ

続いてトレンド発生時の

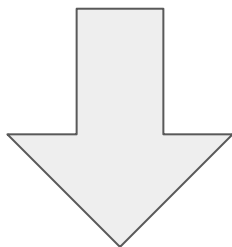
チャートの流れについて

説明していきます！

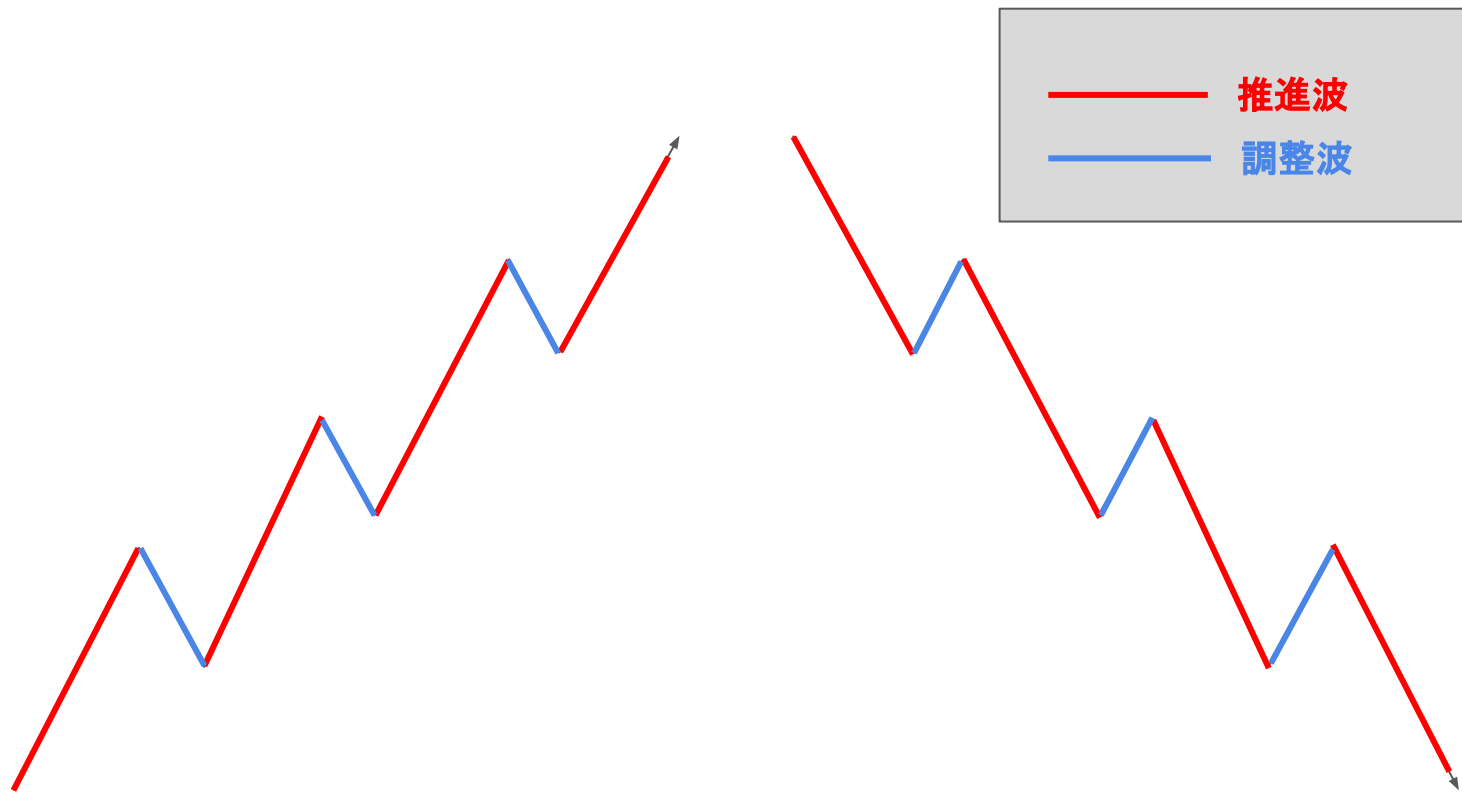
チャートの流れ

トレンド発生時のチャートの流れには

推進波と**調整波**という2種類があります。



チャートの流れ



チャートの流れ



チャートの流れ

ここまでの内容は基礎中の基礎なので

必ず覚えておいてください！



トレンドについていく

それでは！

今までの知識を踏まえたうえで、

トレンドについていく

**僕が6年間トレードをしてきて
ハッキリ断言できることがあります。**

トレンドについていく

それは...

トレンドについていく

トレンドに乗るべき

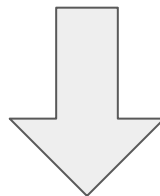
ということです。



トレンドについていく

いわゆる**順張り**です。

順張りしろ！とただ言われても
むずかしいと思うので図を使って詳しく解説します！



トレンドについていく



5分足がこのようなチャートで**赤丸部分**で買いエントリーすれば**順張り**ですよ。

トレンドについていく



しかし**1時間足**がこの形なら、1時間足では**逆張り**になります。

トレンドについていく



日足も見てみると明らかに上昇トレンドなので、日足では**順張り**になります。

トレンドについていく

このように自分が行っているトレードが
順張りなのか逆張りなのかを定義づけるのには...

トレンドについていく

「どの時間足で考えるか」

という前提条件がないと答えられません。



トレンドについていく

今、□時間足では**逆張り**していて

○時間足では**順張り**で、

△時間足でタイミングを計って**順張りエントリー**をした。

トレンドについていく



のような感じになるので

一概に今は順張り逆張りとは言えません。

トレンドについていく

そして先程から

トレンドに乗っかれ

順張りが良い

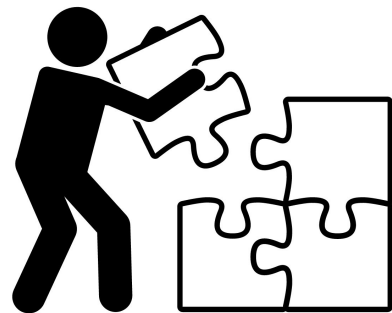
という風に言ってますが

トレンドについていく

結局、

チャートのどの部分を狙うかが重要

ということです。



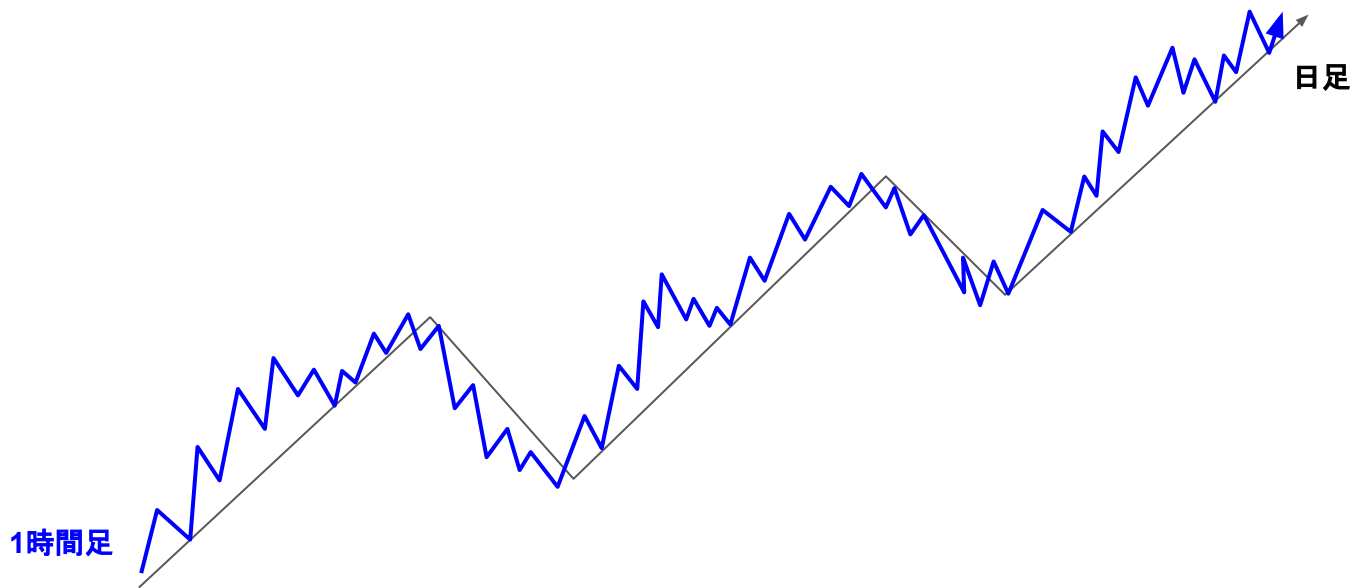
トレンドについていく

そこで皆さんに伝えたいのは

時間足の関係性です。

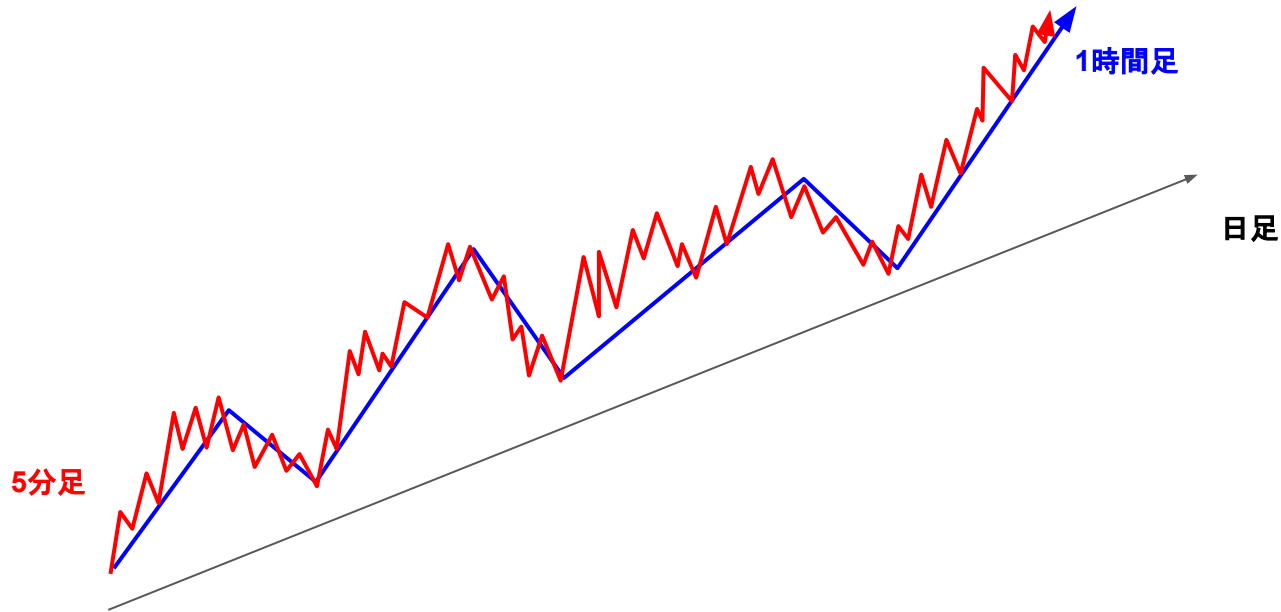


トレンドについていく



日足(黒線)がこのような上昇トレンドを形成している時では
1時間足(青線)は上昇トレンドと下降トレンドを繰り返しています。

トレンドについていく

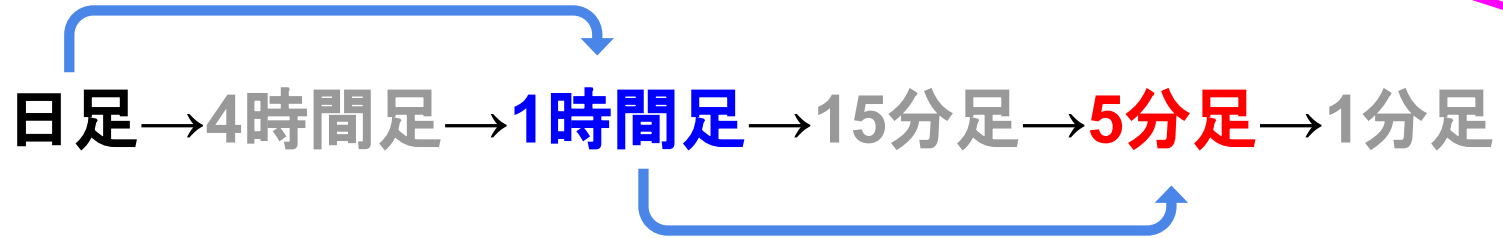


その**1時間足(青線)**の上昇トレンド部分を

5分足(赤線)で見ると上昇トレンドと下降トレンドと同じく繰り返しています。

トレンドについていく

暗記必須!



上位足が日足であれば、下位足は2つ下の1時間足。

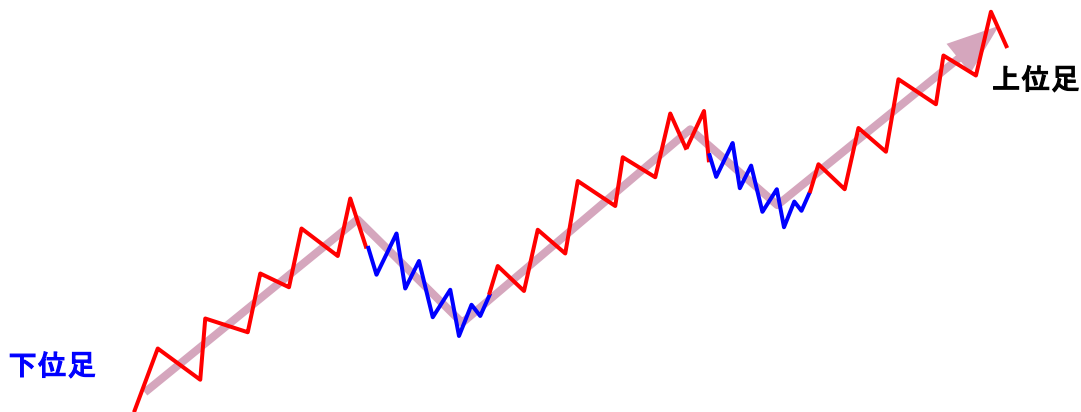
上位足が1時間足であれば、下位足は2つ下の5分足。

トレンドについていく

上位足が上昇トレンドの場合、

推進波部分は下位足で**上昇トレンド**を作っていて

調整波部分は下位足で**下降トレンド**を作っています。



トレンドについていく

この時間足の関係を理解して

自分は**どの時間軸で順張りしているのか**を

把握しながらトレードしましょう！



環境認識

それではお待ちかねの
実際のトレードの流れに入っていきます！



環境認識



まずすべきことは環境認識です。

環境認識

エントリータイミングやエントリー方法よりも

「エントリーする時の相場環境が大事」

というのを理解してください。

環境認識

何故かというと

「自分の手法のエントリーが活かせる相場環境」

なのかを判断するためです

環境認識

つまり**相場環境認識力**という能力が必要不可欠です。



環境認識



この環境認識力が身につけば

無駄な損失やダメシに合うことが確実に減ります。

環境認識

基本的にエントリーが活かせる相場環境というのは

先ほどから解説している

トレンドが発生している所です！

環境認識

因みに僕は絶対にトレンド発生中に
トレードをしています！



環境認識

その環境認識のやり方は

上位足～**下位足**の順番で行います。



環境認識

チャートは時間足を
変えれば驚くほど景色が変わるので、

環境認識

下位足だけを見て

ひたすらエントリーチャンス

待つのはやめましょう！



環境認識

なので、

まずは上位足から確認する癖をつけてください。

環境認識

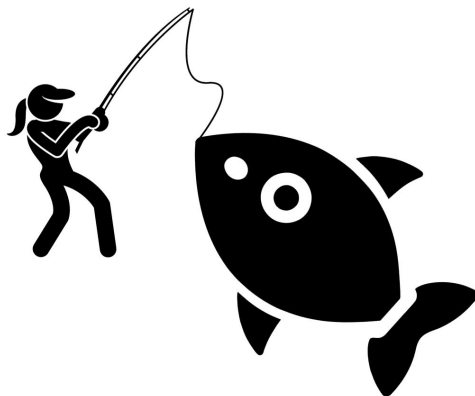
トレンドは

上位足に沿って動きます！

環境認識

なので、上位足から環境認識することによって

相場の大きなトレンドを掴むことができます。



環境認識

そのトレンドの把握ができれば

多少エントリーのタイミングを逃しても

トレンド回帰の動きによりミスをカバーしてくれます。

環境認識

それでは

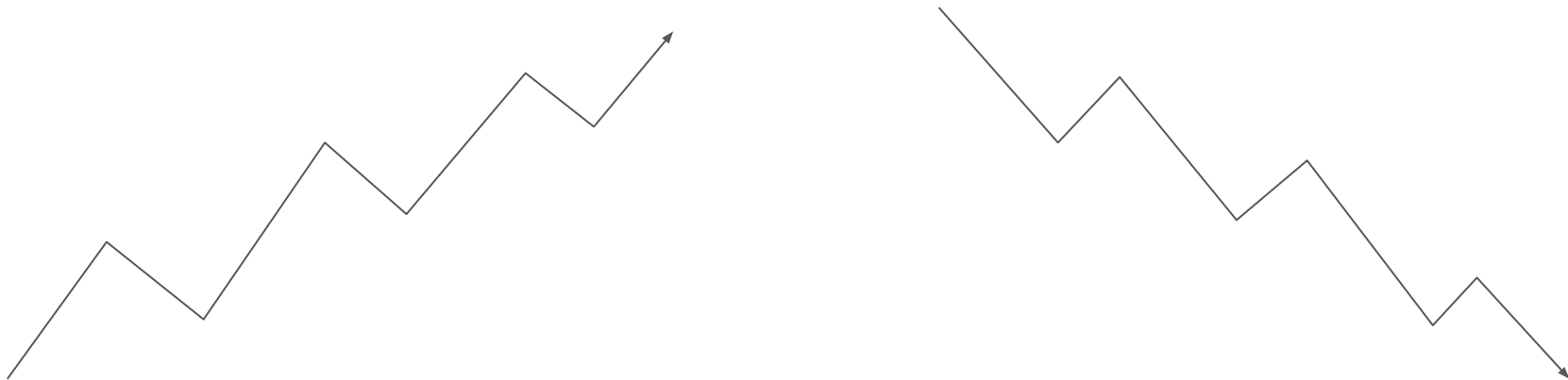
ここからトレンドを確認する時に

意識すべきポイントを**2種類**紹介します

環境認識

①明確に高値安値が

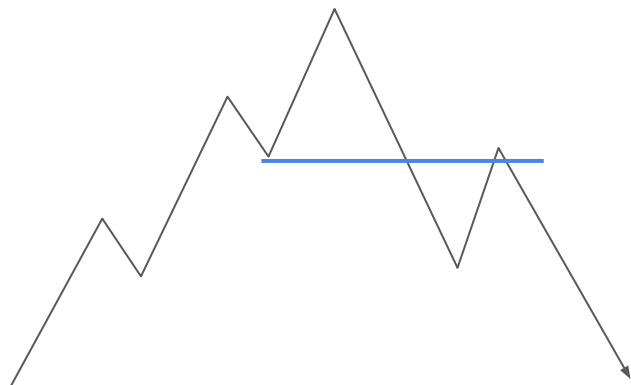
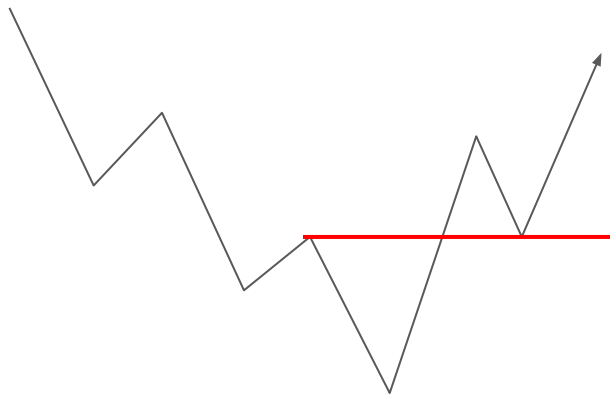
切り上げられているか・切り下げられているか



環境認識

②明確な転換サインが

出ているか・出ていないか



環境認識

この**2つ**を

まず上位足で確認してください！



環境認識

①上位足の環境認識でトレードの方向を決めます！



レンジ→見送り

上昇トレンド→買い

下降トレンド→売り

環境認識

方向が決まれば、

次に価格が反発する目安を可視化する

②抵抗帯を引いていきます！

環境認識

まず上位足で、

分かりやすい直近高値安値

に引いていきます



環境認識

そして、中位足～下位足の

過去にダウが崩れた戻り高値・押し安値

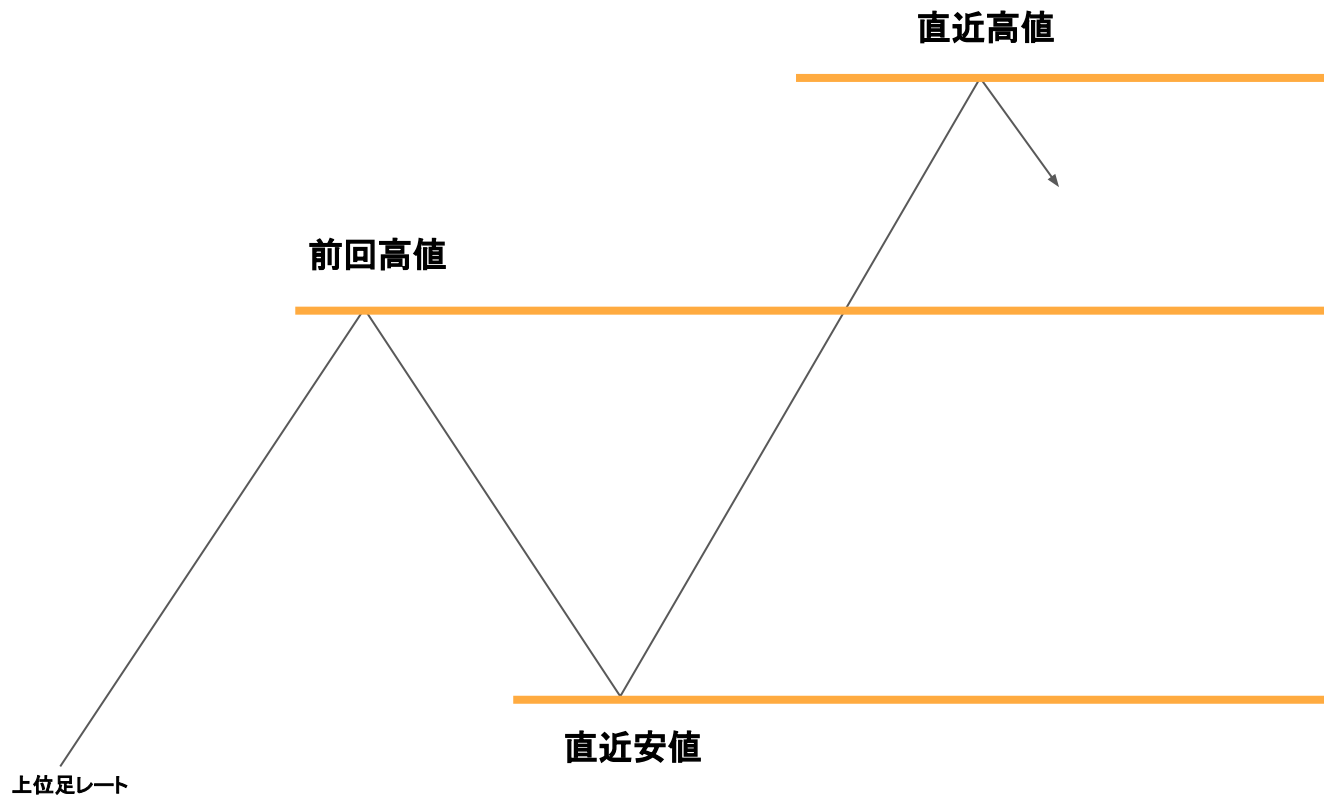
環境認識

中位足～下位足の

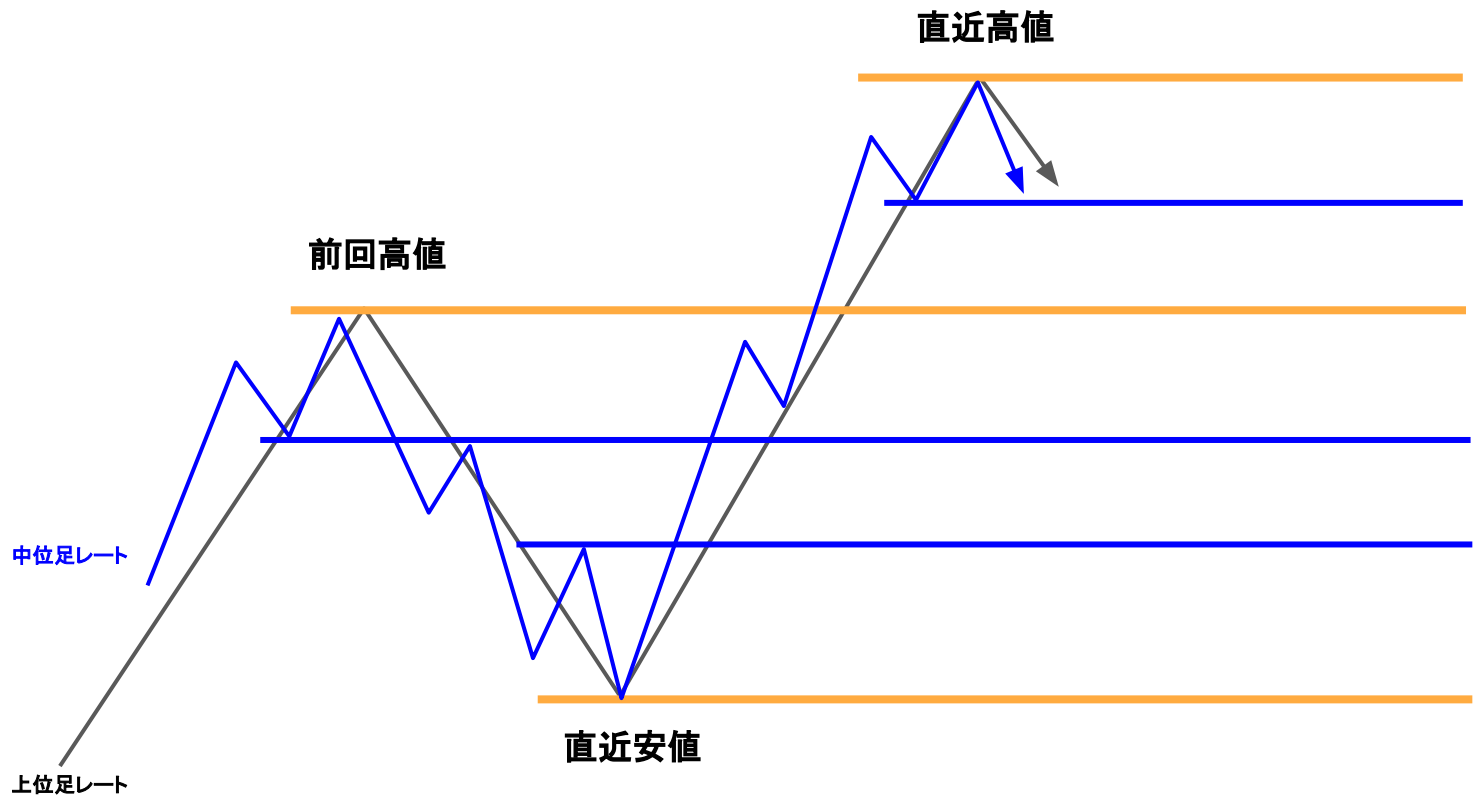
ダブルトップ・ダブルボトムのネックライン

に引きましょう！

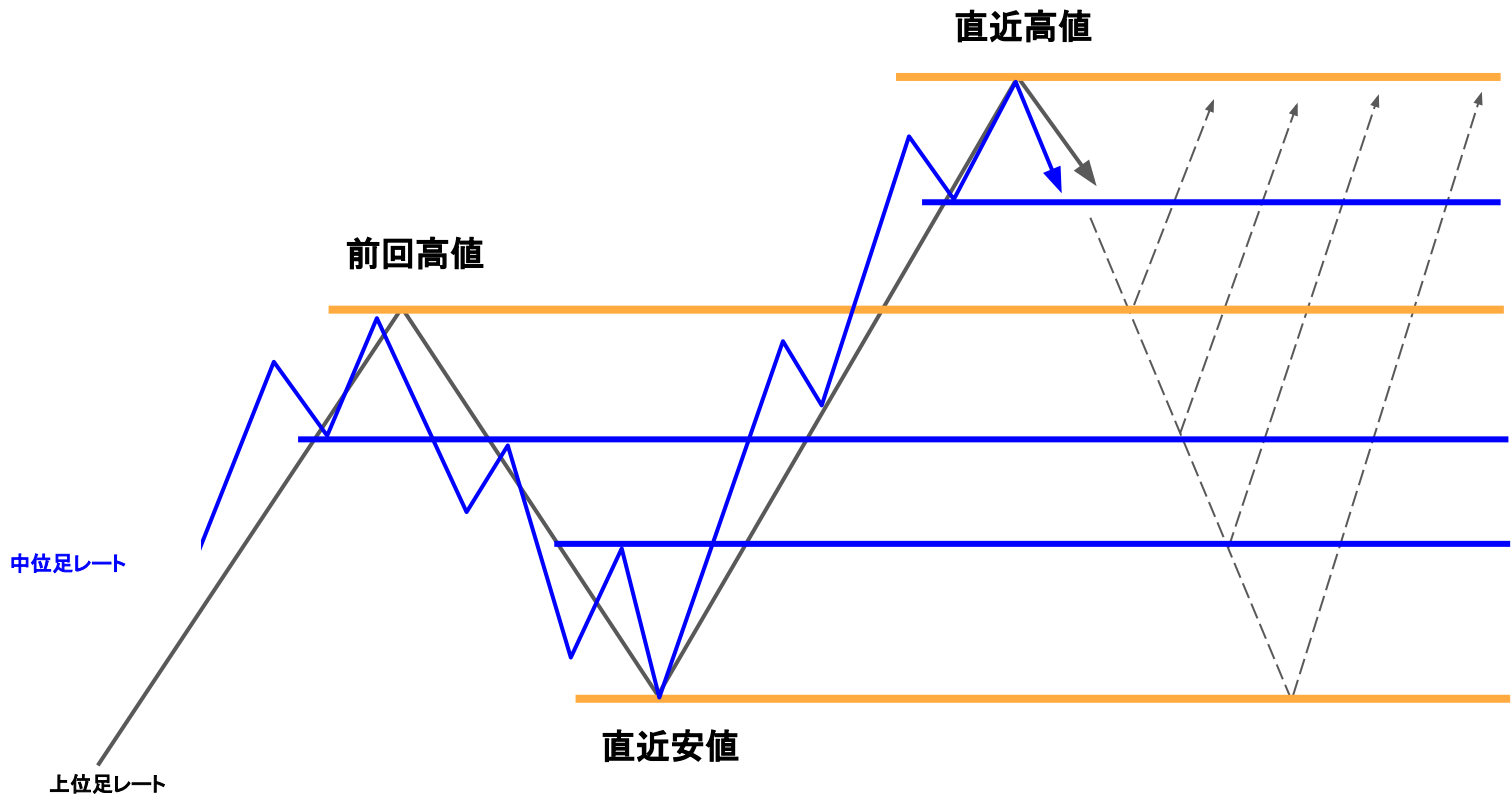
環境認識



環境認識



環境認識



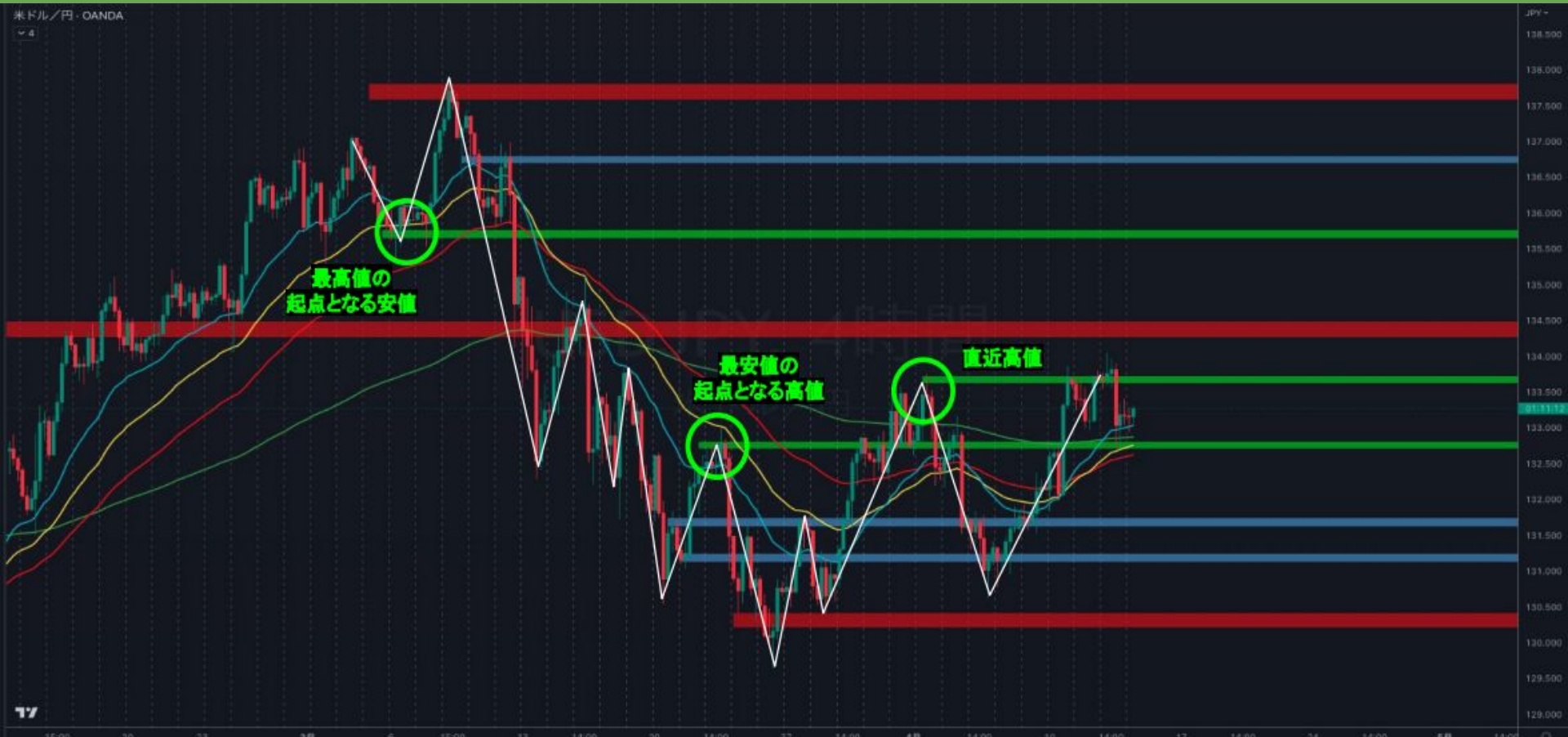
環境認識

米ドル/円 - OANDA

▼ 4



環境認識



環境認識

米ドル/円 - OANDA

4



ダブルトップの
ネックライン

ダブルボトムの
ネックライン

ダブルボトムの
ネックライン

エントリータイミング



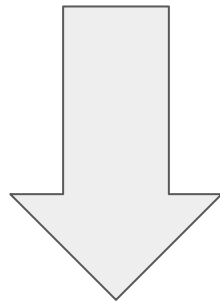
ここまで準備できれば

後は下位足でエントリータイミングを待つだけです。

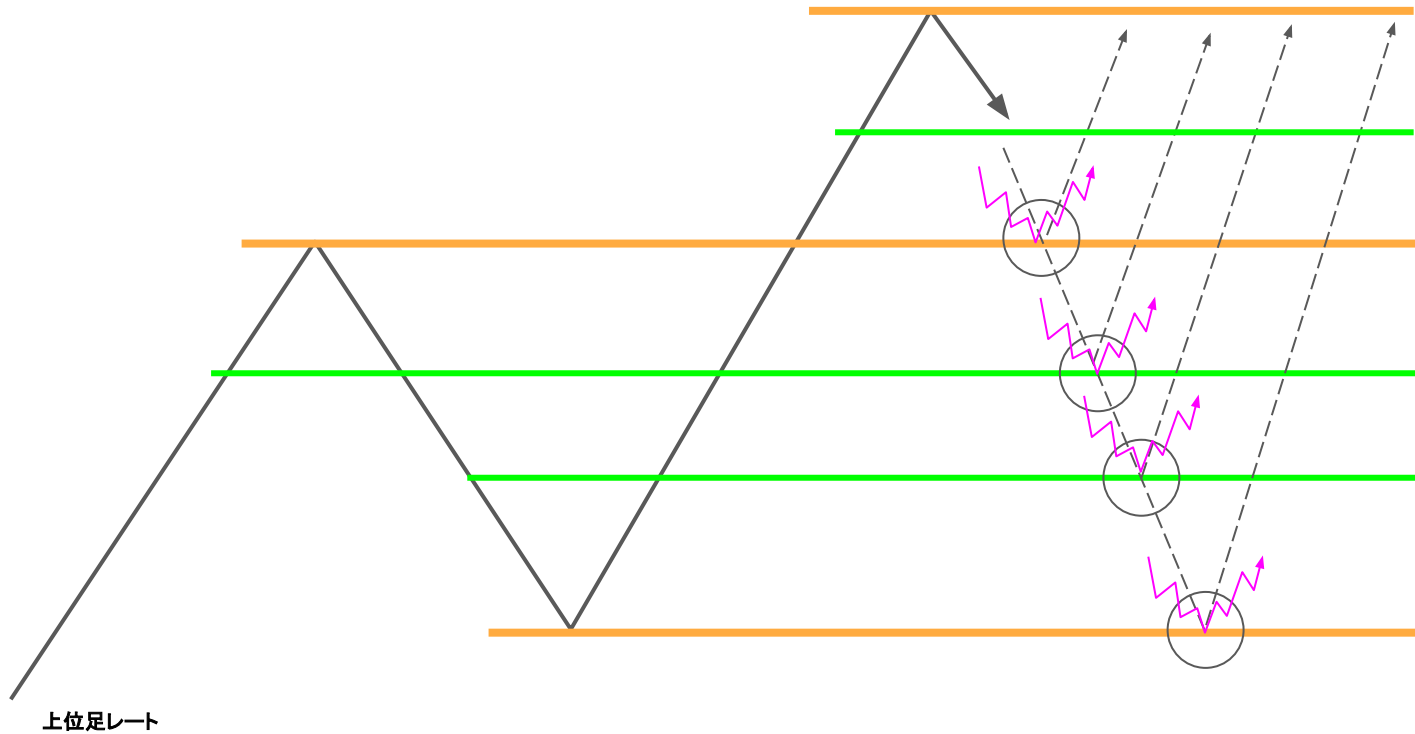
エントリータイミング

要は、自分の引いた抵抗帯付近で下位足が

上位足のトレンド方向に転換すればエントリーです。



エントリータイミング



エントリータイミング

最後に！

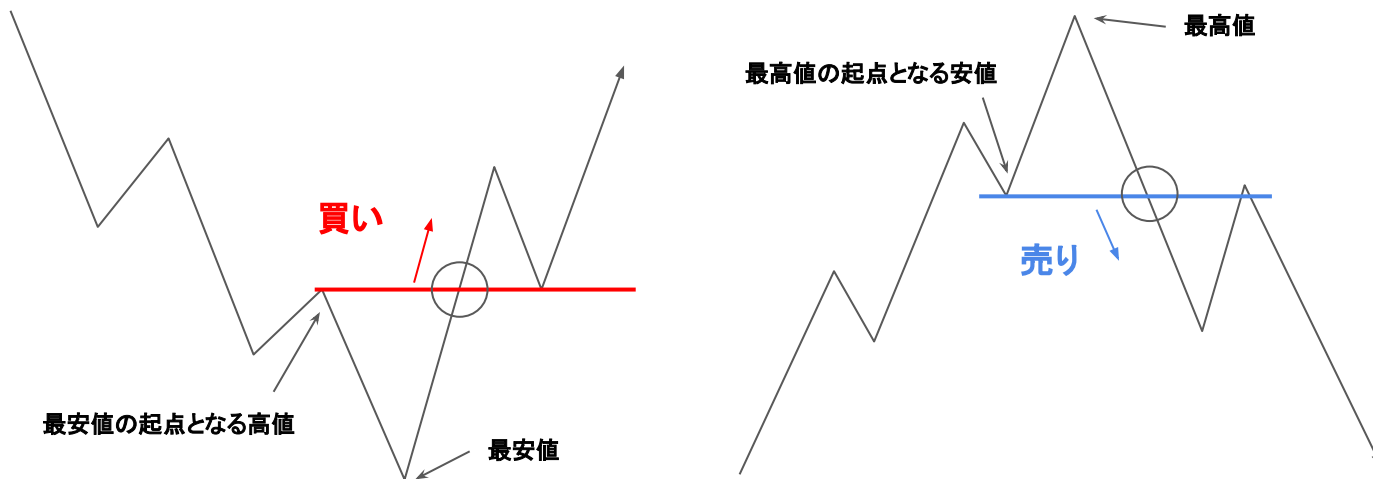
下位足での「**エントリータイミング**」を

2種類をご紹介します！

エントリータイミング

下位足でのエントリータイミング①

ダウ崩れ



最安値の起点となる高値を上抜け

→ 下降ダウ崩れ

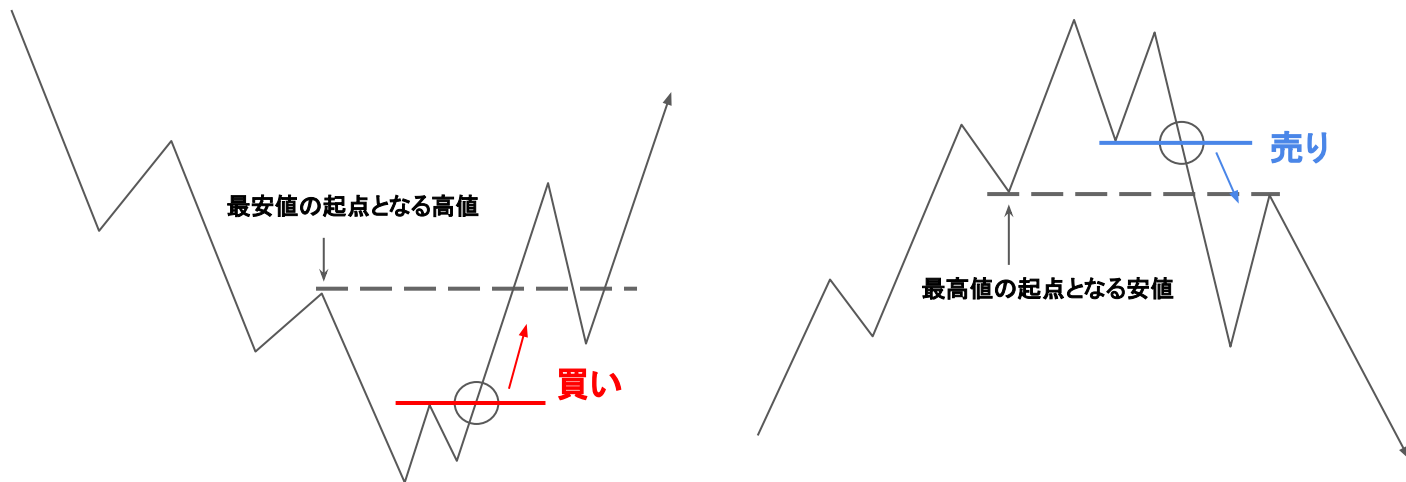
最高値の起点となる安値を下抜け

→ 上昇ダウ崩れ

エントリータイミング

下位足でのエントリータイミング②

ダブルトップ・ダブルボトム



ダウ崩れが起きる前に発生しやすいので初動から入れる

しかし、ダウはまだ崩れていないので注意！

決済タイミング

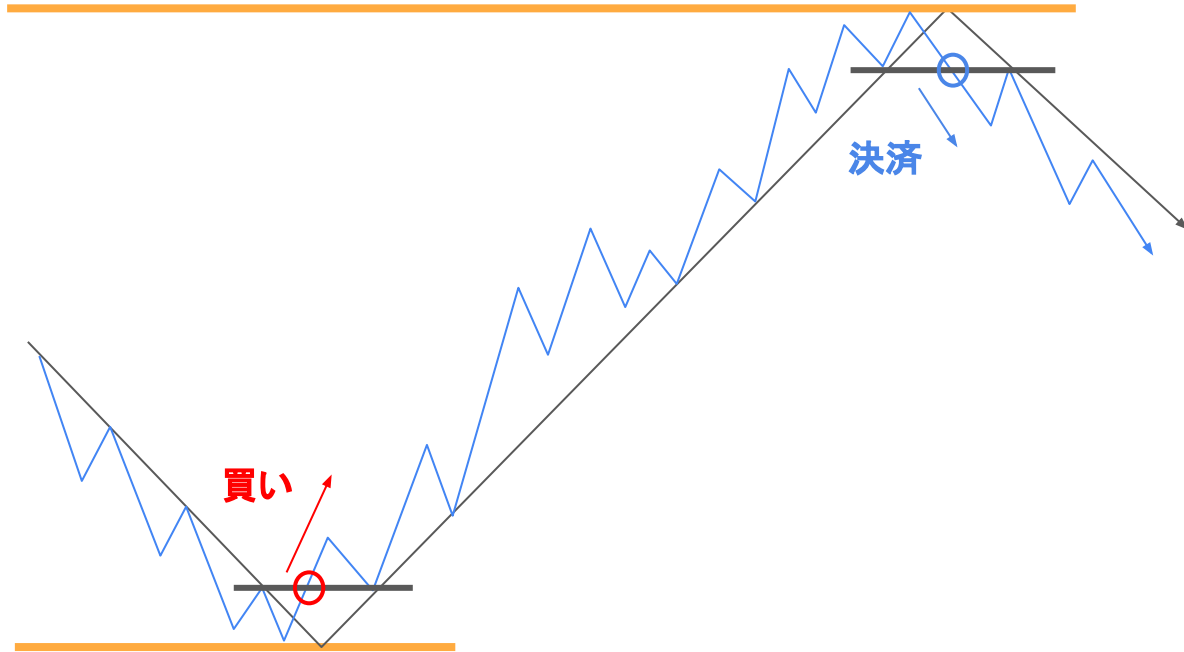
次に決済タイミングです！

これもエントリーと変わらず

抵抗帯付近で**エントリー方向と反対のダウ崩れ**や

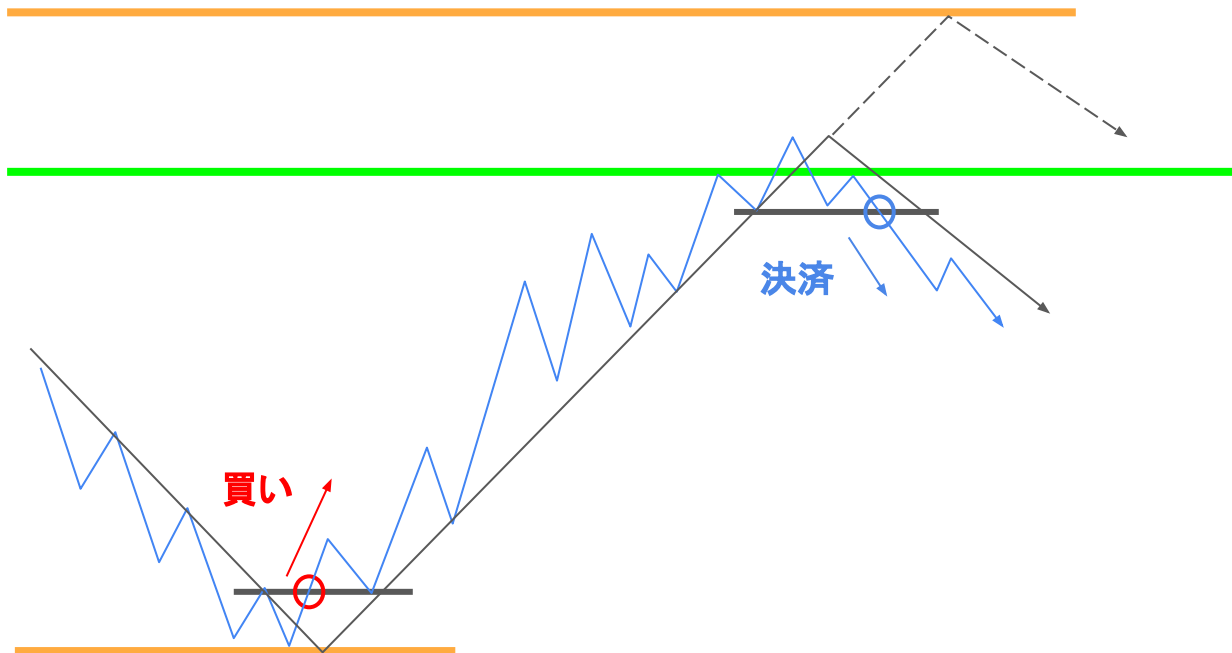
ダブルトップなどのチャートパターンの**ネックライン抜け**で決済です

決済タイミング



上位足レート

決済タイミング



上位足レート

これでダウ理論はマスターできたはず！

ダウ理論

このダウ理論は元は株式市場のための理論ですが

FXでも通用するものとして

多くのトレーダーが活用しています！

FX初心者や負け続けている人はまず

このダウ理論を完璧にしましょう！

